

各分野における主な提案品目（物品・役務）

分野	主な提案品目等	見直し・新規追加	プラ関係	提案の内容（判断の基準の考え方等）	検討に当たっての留意点等
紙類	コピー用紙、印刷用紙	見直し		「日本製紙連合会の違法伐採モニタリングを受けて証明された原料を使用したパルプ」の総合評価方式における評価値を「森林認証材を使用したパルプ」並びに「間伐材等を利用したパルプ」と同等に評価することの要望	その他持続可能性を目指したパルプの配点ウエイトの引き上げと国産広葉樹材の利用拡大の関係について確認が必要
文具類	(事務用、軽包装用)透明粘着テープ	新規追加	○	バイオマス原料あるいは再生プラスチックを使用した透明粘着テープ	比較対象としているOPPテープは、一般的に幅広、高強度であり、セロハンテープとは用途が異なる
オフィス家具等	再生アクリル飛沫防止パーテーション	新規追加	○	新型コロナウイルスの飛沫感染を防止する為の再生アクリル透明パーテーション	再生アクリル70%以上の製品の市場への供給状況及び使用後の回収システムの詳細について確認が必要
	ローパーテーション	新規追加	○	1: 使用済みPETを回収・処理し再資源化したPETを使用したローパーテーション 2: テレワークや Web 会議等、ICT 技術の促進に活用可能なローパーテーション	ローパーテーションは既に特定調達品目であり、再生PET樹脂を10%以上使用しているものは判断の基準を満たしている。 吸音型パーソナルブースについては、環境負荷低減効果、国等の機関における調達実績及び見込みの確認が必要
制服・作業服等	SDGsに貢献するタイプ I 環境ラベル認定品の植物由来合成繊維(BIO-PET)製制服・作業服	見直し		SDGs(持続可能な開発目標)に貢献する ISO14024 に準拠したタイプ I 環境ラベル(エコマーク)で第三者認定された植物由来合成繊維(BIO-PET)製の制服・作業服	タイプ I 環境ラベルの活用に係る検討と併せて判断の基準への導入の可否等について判断
役務	有機農産物(有機農業の推進に関する法律で定める「有機農業」で生産された農産物)	新規追加		有機農業の推進に関する法律で定める「有機農業」で生産された農産物	国等の機関における調達実績及び有機農業が温室効果ガス排出削減に寄与するかの確認が必要
ごみ袋等	プラスチック製ごみ袋	見直し	○	バイオマス(非可食性植物資源)を混練したごみ袋	現行のごみ袋の判断の基準と比較したLCA評価に基づく優位性及び余剰米を混練したごみ袋の仕様(品質、強度、厚さ、配合率等)の確認が必要
	プラスチック製ごみ袋	見直し	○	植物を原料とする複合プラスチック製ごみ袋	現行のごみ袋の判断の基準と比較したLCA評価に基づく優位性及びバイオマスを混練したごみ袋の仕様(品質、強度、厚さ、配合率等)の確認が必要
	炭酸カルシウム配合ポリエチレン製ごみ袋	見直し	○	ポリエチレンに炭酸カルシウムを配合させ、プラスチックの使用量削減と焼却時のCO ₂ 発生量を制御するごみ袋	現行の判断の基準と比較したLCA評価に基づく優位性の確認が必要
その他	オフィス製紙機(によりオフィス内における機密文書の処理)	見直し		オフィス内部で使用済コピー用紙から新たなコピー用紙を製造できる機器による機密文書処理	機密文書処理として提案されたが、製紙機として検討
	オフィス製紙機(により製造されたコピー用紙)	見直し		オフィス内部で使用済コピー用紙から新たなコピー用紙を製造できる機器。製造された紙は100%使用済みのコピー紙を材料としており、コピー用紙のグリーン購入基準に該当することからこれら機器により製造されたコピー用紙をグリーン購入品と見做されることを提案。	コピー用紙として提案されたが、製紙機として検討
	運用方法へのマスパランス方式の追加	新規追加	○	マスパランス方式による環境配慮素材採用	マスパランス方式の適用範囲及び第三者認証の内容(基準)について詳細な検討が必要
	荷崩れ防止ベルト	新規追加	○	ストレッチフィルムに代わる荷崩れ防止に特化したベルト	国等における調達実績及び他の役務の品目における配慮事項としての設定可能性について検討
	植物由来ポリエチレンを含む検査用袋	新規追加	○	さとうきび由来エタノールを原料としたバイオマスポリエチレン等を使用した検査用袋	国等の機関における調達実績及び食堂における調達の可能性について確認が必要